



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか



令和4年(2022年)
6月6日
月曜日
第248号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県の学校を、元気で魅力あふれる教職員の手で、夢いっぱいの学校にするために

学校における業務改革の取組を進めています

プラン期間
R4～R7
プランの全文はこちら▶



◇平成31年2月に策定した「学校における業務改革プラン」の取組状況を踏まえ、プランを改訂しました。

◇一人一人の教職員と組織としての学校、それを支援する教育委員会が一丸となり、「児童生徒のため」、「教職員自身」のため、業務改革を進めていきましょう。

目標指標等の状況 (一部)

◆【学校】管理職と教職員が学校の業務改善を協議する場の設置

年度	小学校	中学校	高校	特支
H30	95.9%	94.7%	94.6%	97.3%
R元	96.9%	97.1%	96.4%	100.0%
R2	97.5%	95.9%	100.0%	100.0%

教職員が主体的に業務改善を議論し、実践する環境が整ってきています。

◆【学校】多忙化解消に向けた研究成果の活用

年度	小学校	中学校	高校	特支
H30	90.3%	85.9%	41.8%	81.1%
R元	95.3%	92.4%	57.3%	86.5%
R2	92.1%	88.8%	60.8%	89.2%

増加傾向ですが、学校種別の差異が見られます。

◆【教員】月80時間超の時間外在校等時間

年度	小学校	中学校	高校	特支
H30	7.6%	29.8%	9.1%	0.05%
R元	5.7%	26.1%	9.0%	0.07%
R2	3.4%	14.9%	7.6%	0.07%

縮減傾向にあり、地道かつ重層的な取組の効果が表れてきています。

◆【教員】児童生徒と向き合う時間・指導準備時間増加の実感

年度	小学校	中学校	高校	特支
H30	47.8%	50.3%	55.0%	58.8%
R元	55.3%	53.5%	56.0%	60.0%
R2	54.0%	59.7%	55.8%	59.8%

改善が図られてきていますが、時間的余裕を生み出すため、更なる取組の推進が必要です。

重点取組(5本柱)の状況 (一部)

1 人的資源の配置・活用

- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの全市町支援体制整備
- スクール・サポート・スタッフの全小中学校配置

2 校務の分類・整理と見直し

- 学校連絡・情報共有サービスの全特別支援学校導入
- eラーニング教職員研修管理システムの導入、電子教材等の共有

3 教職員の働き方の見直し

- 勤務時間管理システムの全県立学校導入
- メンタルヘルス研修を延べ約4,000人が受講(R1～R2)

4 効率的・効果的な部活動の実現

- 部活動指導員を高校延べ45人、中学校延べ71人配置(R1～R2)
- 運動・文化部活動の専門的スキルを持った地域人材の派遣

5 地域・家庭、関係機関等との連携・協働

- コミュニティ・スクールを小・中学校17市町212校、高校20校、特支22校で導入(R3)
- しずおか寺子屋を13市町67か所で実施(R3)

今後の業務改革の方向性

◇今後も、教職員による主体的な業務改善の取組や、学校や教育委員会による5本の柱からなる重点取組を着実に継続・発展させていきます。

◇重点取組を下支えする次の3つの視点を踏まえ、教職員の時間と心身に余裕を生み出していくことを目指します。

ICT化の推進

デジタル技術を活用して、学習、働き方、学校運営を効率化・高度化させ、県下全体の変革を促進させる「スクールDX」を推進していきます。

業務改善への行動変容・横展開

「自分ごと」として業務改善に取り組む教職員・学校を支援できるよう、学校の働き方改革推進プロジェクトなどのモデル校の改善手法等を全県に展開・波及させていきます。

実効性を高める組織体制

R4年度新設した教育DX推進課を中心に、ICTを最大限に活用し、学習指導や校務、働き方の改革を一体的に推進します。

学校の業務改善の推進に向けて…

教職員 学校の実情や課題等を踏まえ、皆で議論を行いながら、身近なところから、主体的に改善を進めていきましょう。

学校(校長) 学校の業務改善の目標を設定し、自らのリーダーシップに基づく、組織的な改善を進めていきましょう。

教育委員会 学校や教職員の負担を軽減するよう、国や関係機関等とも連携し、業務改善を支援する取組を進めていきます。

学校: 教職員(身の回りの業務改善) / 校長(学校レベルの組織的改善)

県教育委員会(市町教育委員会): 国・関係機関と学校間の連絡・調整 / 学校の業務改善の支援

地域・家庭 / 関係機関 / 国(文部科学省)

実践NOTE⁴⁹³ 業務改善の具現化を目指して

三島市立北小学校 主幹教諭 伊藤 亮

できることを増やしていく

本校は、令和3年度より働き方改革推進校の指定を受けました。「できることを1つずつ」という思いで、健康観察アプリ活用による電話対応の削減、登校時間変更による時間外勤務の削減、スクールサポートスタッフやICT支援員活用による子供と向き合う時間の確保、終業時刻を知らせるチャイムの導入などの取組を増やしてきました。



保護者からの連絡を確認する教員

従来のやり方に改革を

運動会といえば今まで早朝から準備を行っていましたが、7時40分前には準備をしないことを校内で取り決めました。通常の出勤時間でも対応できる準備内容を各担当が計画して事前準備を進めることで、早朝出勤による過度な負担を軽減することができました。



スマホやタブレットで見る便利

また、学校便りや給食の献立、保健便りをタブレット端末や保護者のスマートフォンに配信することで印刷業務の削減を実現しました。「紙のvenience」は、学校には欠かせない存在でしたが、保護者の協力を得て業務改善を進めました。

変える意識、変わる意識

業務改善を進めるためには、その原動力となる「働き方改革への意識」が必要です。そこで、日頃の働き方についてざっくばらんに話し合う機会を設けたり、業務改善に向けたスローガンを学年や事務部の輪番で作成したりすることを通して、働き方に関わる話題が身近な所で行き交う職場づくりに努めました。その成果として、校内アンケートでは、「自分なりに業務改善のめあてをもっている」という回答が97%に達しました。



月替わりのスローガンと筆者

業務改善の歩みを止めない

本校の業務改善に向けた取組は、令和4年3月7日発行のEジャーナルしずおか第245号で動画による紹介をさせていただきました。令和3年度には15項目以上の取組を実践し、留守番電話をセットする時刻には全教職員が帰宅する日が多く見られるようになりました。令和4年度は、放課後の会議や研修を行わない日を計画的に設定し、自己研鑽の時間を確保したり年次休暇を取りやすくなりするなど、一層業務改善を推進していきます。



夕方の職員室

実践NOTE⁴⁹⁴ SDGsを取り入れた課題解決型学習の実践

静岡県立浜松工業高等学校 教諭 藤井 邦光

持続可能な開発のための教育

新学習指導要領前文で、生徒が「持続可能な社会の創り手」となるよう、持続可能な開発のための教育(以下ESD)を学校教育全体で目指すと明記されました。一方、2015年、国連によって「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。SDGsの17の目標達成においても教育が担う役割は大きく、ESDの推進が強く望まれています。このような背景から、私はSDGsを組み込んだ課題解決型学習を計画し、実践してきました。



著者



SDGsロゴ

世界の課題を知ろう

私が担当する建築科3年生の必修科目「課題研究」(総合的な探究の時間の代替科目)にてSDGsを組み込んだ課題解決型学習に取り組んでいます。

生徒はSDGsの調査と理解から学習を始めます。調査を通して、世界にはどのような課題があるのかを知り、解決に向けて私たち一人ひとりがどう行動すればよいのかを考えることが第一歩です。

その後、各生徒が主体的に課題設定をします。各種団体が募集する建築設計競技からテーマを選択する生徒、学校内における課題を設定する生徒もいました。そして、SDGsを課題解決の新たな切り口として参照します。



生徒の活動

SDGsをヒントに課題解決へ

建築設計に関心がある生徒は、「茶室」をテーマにした建築設計競技において、SDGs「13気候変動に具体的な対策を」をヒントに、自然災害に対する強靱性及び適応力を強化する茶室建築を考えました。また、木材加工が好きな生徒は、SDGs「12つくる責任つかう責任」をヒントに、学校のベランダを活用する東屋を製作しました。



茶室の提案



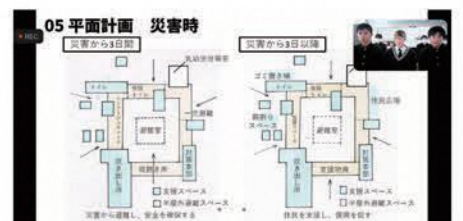
東屋の製作

結果、事後アンケートでは、「SDGsをヒントにすることで、アイデアを飛躍させることができた」と100%の生徒が回答しています。

社会への発信

生徒たちが創出した作品やアイデアは、積極的に学外の意見を取り入れることを心がけました。大学教授等へプレゼンテーションし、アドバイスを頂くことで学びの深化につながると考えたからです。その結果、外部から評価を頂くことは深い学びだけでなく、社会性の獲得や生徒の意欲向上にもつながっていったように感じます。

今後も工業の学びを活かし、外部と連携を取りながら本校生徒が「持続可能な社会の創り手」となるよう授業実践を進めたいと考えています。



大学教授へのオンラインプレゼン

総合教育センター **よすなろ Angle**

静岡県生涯学習情報発信システム「まなぼっと」で、生涯学習に関する「講座・イベント情報」等を探してみませんか？

「まなぼっと」とは？

「まなぼっと」とは、県内各地で実施される生涯学習に関する講座・イベント情報等を集約し、県教育委員会が運営するウェブサイト上で掲載・発信しているシステムです。「まなぼっと」には、**趣味の幅を広げるため、専門知識を深めるため、親子で楽しむためなど、さまざまな目的や年代に応じた講座・イベント情報**が掲載されています。

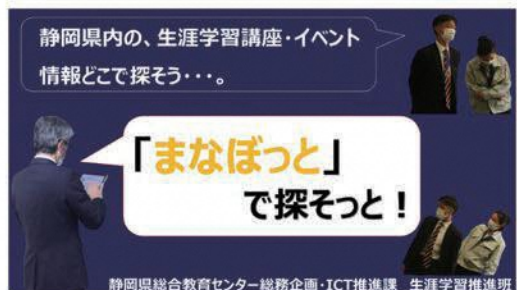


インターネット上で、気軽に講座・イベント情報を探せるシステム！

「まなぼっと」は、「だれでも」「いつでも」「どこでも」パソコン、タブレット、スマートフォン等から、気軽に情報を探ることができます！

「まなぼっと」で、講座・イベント情報を探してみませんか？

詳細はYouTube動画がありますので、下の二次元コードを読み取るか、YouTube内にて「まなぼっと」で探そと！」と検索し、ご視聴ください。



まなぼっと静岡

「まなぼっと」システムは

「動画」はコチラ



【総合教育センター 総務企画・ICT推進課 生涯学習推進班】 TEL 0537-24-9715

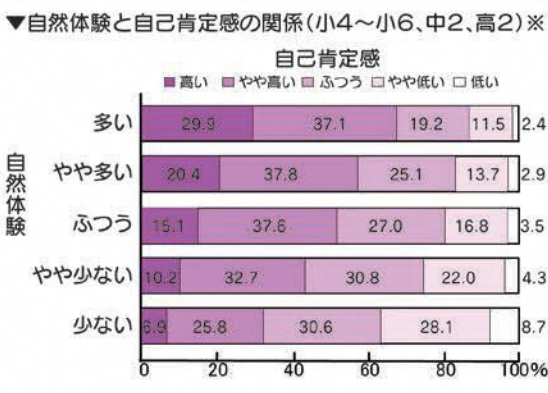
～青少年教育施設を利用して、子どもに豊かな学びを～ 学校だけでは学べないものが ここにある！

県立青少年教育施設では、それぞれの特徴を生かし、自然の中で豊かな活動の場を提供しています。コロナ禍で、子どもたちの体験の機会が減少している今だからこそ、改めて青少年教育施設を活用してみませんか？



自然体験にはどんな効果があるの？

自然体験が多い子どもほど、自己肯定感が高い傾向があるなどの結果が報告されています。



※出典 「青少年の体験活動等に関する意識調査」 報告書 令和元年度調査 (国立青少年教育振興機構)

日帰りよりも宿泊した方がいいの？

日帰りなど短期間の活動でも教育的効果はありますが、宿泊により一定の期間を確保することで、よりダイナミックな活動をすることができます。



詳細は、各施設へお気軽に！

<p>観音山少年自然の家 TEL 053-545-0111</p> <p>広大な活動エリアで活動に没頭！</p>	<p>朝霧野外活動センター TEL 0544-52-0322</p> <p>富士山麓の豊かな自然環境！</p>
<p>三ヶ日青年の家 TEL 053-526-7156</p> <p>国内唯一「ダブルハルカヌー」！</p>	<p>焼津青年の家 TEL 054-624-4675</p> <p>水産都市焼津を活かした活動！</p>

【社会教育課】 TEL 054-221-3313

Change Your Future 未来を切り拓く Dream授業 受講生募集中

静岡県では、中学1・2年生を対象に、学校や日常生活とは異なる学びの場を提供する「未来を切り拓くDream授業」を行います。3泊4日で行う国内外で活躍する一流の講師による講義やグループディスカッション等を通じて、子どもたちの大きな飛躍が期待できます。



日程	2022年8月2日(火)～8月5日(金) (3泊4日)	
会場	静岡県総合教育センター(掛川市)	
対象	県内の中学1・2年生 30人(申込多数の場合は抽選)	
応募方法	県ホームページに掲載の所定の申込用紙に必要事項を記入し、郵送にて申込み(詳細は下記二次元コードからホームページをご覧ください)	
参加費	無料	募集期間 6月6日(月)～7月1日(金)(必着)

プログラム内容(予定)

- 各界を代表する講師陣による講義[予定講師] 渥美万奈(ソフトボール元日本代表)、加藤種男(アーツカウンシルしずおかアーツカウンシル長)、加藤百合子(エムスクエア・ラボ代表取締役)、川勝平太(静岡県知事)、杉田精司(東京大学大学院教授)、高畑幸(静岡県立大学教授)、矢野弘典(ふじのくにづくり支援センター理事長)、SPAC(県立劇団)
- 外国人留学生・ALT・国際交流員との交流
- 舞台俳優による表現指導
- 同世代の仲間とのディスカッション、発表 など



昨年度参加者の声

「自分の夢を叶えている先生方の講義を聞くことができ、自分も夢を叶えられるということをより強く思うことができた。」「講義を受けて視野や考え方が変わった。」

応募方法等 詳しくはこちら！

各中学校に配布しているチラシもご覧ください！

【スポーツ・文化観光部総合教育局総合教育課】 TEL 054-221-3764

教育現場でも「やさしい日本語」を



「やさしい日本語」は、相手に配慮した分かりやすい日本語のことです。

県では、外国人、子どもや高齢者、障害のある人など、様々な人へのコミュニケーション手段として、「やさしい日本語」の普及活用を促進しています。

学校からのお知らせも、ふりがなをふったり、簡単な言葉に換えたりすると、外国人の児童生徒や保護者に、伝わりやすくなります。

ホームページ



県が作成した「やさしい日本語の手引き」などを参考に、「やさしい日本語」を使ってください。

【多文化共生課】 TEL 054-221-2178

教員のための博物館の日 inふじのくに 茶の都ミュージアム参加者募集

「教員のための博物館の日」は、教員の皆さんに博物館に親しみを持ってもらうこと、博物館にある学習資源を知ってもらうために全国の博物館で実施されている事業です。当ミュージアムでは、学校向けのプログラムやお茶を楽しむプログラムなどを特別に体験していただけます。



- 開催日 7月28日(木)
- 参加費 無料(交通費支給)
- 対象 小中学校等の教員(定員20人)



デジタルミュージアムを御活用ください!

博物館、茶室、庭園の訪問を疑似体験し、展示をクリックするとその内容を紹介した映像が流れます。来館が難しい学校や来館前の事前学習にてぜひ御活用ください。

ホームページ



【ふじのくに茶の都ミュージアム】 島田市金谷富士見町3053-2 TEL 0547-46-5588

令和4年度 子ども図書 研究室 講演会

言葉の発達、 思考の発達を助ける 絵本読みと読書

令和4年 7月5日(火) 13:00~15:00

場所 県立中央図書館 講堂

定員 50人(先着順)

- 申込
- 1 来館
 - 2 電話 054-262-1246
 - 3 ふじのくに電子申請サービス ※「子ども図書」で検索

申込締切

7月1日(金) 17時まで受け付け

講師より

子どもはことばの意味を自分で考えることによって単語を覚え、語彙をつくっていきます。そして、ことばを覚えることは考える力の発達に深く関与します。当然ながら、ことばの力と考える力は学力にも大きく影響します。幼い時からの絵本読みはことばの発達にも思考の発達にも大きな役割を果たします。

この講演では、「ことばを覚える仕組み」「ことばと考える力の関係」「絵本読みと読書の役割」を三本の柱にして、子どものことばの力を育て、考える力を発達させるために、大人は何をしたらよいのか、特に絵本を読んであげることが、小学校入学以降の読解力、問題解決力にどのように関わっているのかを、認知科学のエビデンスをもとに読み解きます。



講師 今井つみ氏
慶應義塾大学環境情報学部教授。認知科学、特に認知心理学、発達心理学、言語心理学分野の研究者。語彙(レキシコン)と語意の心の中の表象と習得・学習のメカニズムに関する研究を行う。

【中央図書館企画振興課企画班】

伊豆伊東高等学校の 校章デザインを募集します!

令和5年4月に開校する伊豆伊東高等学校の校章デザインを募集しています。伊東の地に開校する、新たな学校のイメージにふさわしい校章デザインをお寄せください。

応募方法	電子メール、はがき、または所定の用紙(県教育委員会ホームページに掲載)の郵送により応募できます。1人何点でも応募可能です。グループで作成した校章デザインの応募も可能です。以下の内容を記載してご応募ください。 ○校章案(1通に1校章案とします) はがきの場合は5cm×5cmのデザイン、電子メールの場合は校章案をJPEG形式(拡張子jpg、500KB程度以内)で添付してください。 ○校章案の説明(理由やイメージ等) ○住所、氏名、電話番号 (グループの場合は代表者の住所、氏名、電話番号)
募集期間	令和4年6月10日(金)~6月30日(木)(必着)
校章発表	令和4年9月(予定)
校章採用者	記念品を贈呈します。
問い合わせ・応募先	伊豆伊東高等学校開校準備委員会事務局(県立伊東高等学校内) ○住所 伊東市岡入の道1229-3 ○電話番号 0557-37-8811 ○FAX 0557-38-1229 ○電子メールアドレス itoshinkoso.1051@neg.edu.pref.shizuoka.jp



伊豆伊東高等学校の 校章募集要項、学校概要

【高校教育課】 TEL 054-221-3152

東海道シグマでは、介護に関する各種研修を実施しています。

広告

詳細はお気軽にお問い合わせください。少人数制の講座で感染症予防のための対策を積極的にを行っています。

全世代の誰もが駆け込み、 立ち寄れる拠点

静岡市認知症ケア推進センター 「かけこまち七間町」

認知症の方やそのご家族への 総合的な支援を行います。

相談 受付中

午前9時~午後6時/火・木・金・土・日 静岡市葵区七間町5-8 ミライエ七間町1階

介護福祉士実務者研修

介護職員初任者研修

生活援助従事者研修

介護入門的研修

福祉用具専門相談員養成研修

家政士養成研修

会場 シグマカレッジ沼津駅前校 沼津市大手町3-2-20 サンフォービル5F (JR沼津駅南口より徒歩3分)

シグマカレッジ静岡校 静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F (JR静岡駅北口より徒歩5分)

シグマカレッジ浜松駅南校 浜松市中区砂山町353-3 大協土地ビル6F (JR浜松駅南口より徒歩3分)

お問合せ先



東海道シグマ 地域福祉支援事業部 静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F 人材派遣業(派22-010009)・人材紹介業(22-ユ-010028)

TEL 054-255-4259

受付時間/平日9:00~17:30

東海道シグマ介護

http://www.sigma-jp.co.jp/landing/medicalcare/care/

